

企業名	公益財団法人ベルマーク教育助成財団
所在地	東京都中央区築地五丁目4番18号
業種	R サービス業（他に分類されないもの）
常用労働者数	23人
事業内容	教育援助
ホームページ	http://www.bellmark.or.jp/

1 ニーズ調査

①実施日及び実施方法
平成30年11月12日、調査票を都内に勤務する全従業員に配布
②対象者数、回収数、回収率
対象者23名、回収数21名、回収率21/23=91.3%
③調査結果概要（調査により明らかになった課題）
<ul style="list-style-type: none">・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について 現在も介護をしていると回答した従業員は、全体の約2割いた（介護対象者の有無については、次の項目を参照）。・今後の従業員の介護見込みについて これまでは介護経験がないが、今後5年以内に介護する可能性が「少しある」と回答した従業員が一番多く（71%）、次いで「介護することはない」（18%）、「介護する可能性がかなり高い」（12%）の順になった。身近に介護対象者がいると考えている従業員が圧倒的に多い。・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 調査の結果、「制度があることは知っているが、内容はわからない」が48%と高く、次いで「どのような制度があるかは知っており、内容もおおよそわかる」が43%となった。制度自体の認知度は高いものの、全体の約5割弱の方がその内容までは分からないという結果である。・介護と仕事の両立に関する不安について 「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくいこと」が48%と高い結果になった。介護は比較的長期化傾向にあるので、その点を不安視している従業員が多いということが分った。 「未回答」（33%）の次に多かったのが「公的介護保険制度の仕組みが分からないこと」（29%）という不安だった。・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 最も高かった回答が「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する」で76%だった。次いで「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が19%だった。 また、望ましい社内制度については、「短時間勤務制」「時間単位年休」を選択する方が62%と最も高く、次いで「フレックスタイム制」「始業・終業時刻の繰上げ又は繰り下げ」が43%となった。

2 プロジェクトチームの設置及び運営状況

①設置日・メンバー
（設置日）平成30年11月12日 （メンバー）総計2名 ・都内勤務者 経理部門（計2名） ・都外勤務者0名（計0名）
②運営の状況（開催日、検討内容及び参加者数）
第1回：平成30年11月26日 活動内容及びスケジュールの確認（2名参加） 第2回：平成30年12月21日 調査結果概要説明、取組案の提示（2名参加） 第3回：平成31年1月16日 取組案についての意見交換、確定（2名参加）

3 策定した取組計画（内容及び取組時期）

平成 30 年度～	介護休暇の日数を 2 日増加する
平成 30 年度～	介護休暇を時間単位で取得できる制度とする
平成 31 年度～	介護休暇の日数を 1 日増加する